室蘭工業大学
学術資源アーカイブ
Muroran Institute of Technology Academic Resources Archive

北欧デンマークのクリスマス

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-01-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三村, 竜之 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10258/00010115

登別市・国際理解講座 第４回

北欧デンマークの クリスマス

担当講師: 三村竜之（室蘭工業大学准教授）
m76tatsu@gmail.com

人口 580 万人程の北欧の小国デンマーク。近年はエコ生活や高水準の福祉制度、「国民の幸福度」などで注目を集めていますが、一体どんなクリスマスを過ごすのでしょうか。本講座では、デンマークならではの珍しいクリスマスの習慣や食物、催し物などを、写真や映像をたくさん交えながら紹介します。また、私たちにはあまり馴染みのないデンマーク語についても簡単な挨拶や表現を通じて触れてみましょう。

God fornøjelse!「お楽しみに!!」

1　デンマークってどんな国？

人口 580 万人程の北欧の小国デンマーク。その面積は日本の九州とほぼ同程度なのですが、自治権を認められたグリーンランドや大小 18 の島々からなるフェロー諸島を含むと、実は大きな国となります。公用語はデンマーク語。その他にも、グリーンランドではエスキモー語（グリーンランド語）が、またフェロー諸島ではフェロー語が同じく公用語として使われています。

高度な福祉制度の国としてよく知られ、近年は「幸福度ランキング」で上位に位置付けられることの多いデンマーク。環境に配慮した生活、特に自転車が話題に上ることもありますし、絵画や映画、洗練されたデザインの家具や照明も人気があります。国民的スポーツであるサッカーや、料理の世界でも注目集めています。

緯度は北海道とほぼ同じくらいなのですが、メキシコ湾流という暖流のおかげで、冬は思った程寒くはなりません。特にコペンハーゲンは積雪量もそれほど多くはなく、比較的冬場でも過ごし易いです。寒さの厳しい 1 月頃でもせいぜいマイナス 2〜3 ℃になるくらいで、それよりも気温が下回る日はあまり多くはありません。

夏の気候も厳しくなく、北欧特有の湿度の低いカラッと爽やかな夏です。8 月前半であれば 30 ℃近くまで気温が上昇することもありますが、それほど多くはありません。但し、湿度が低い分、夏場でも夕方以降は少し肌寒く感じることもありますし、比較的夕立の多い時期でもあります。

北欧は比較的風の強く吹く地域ですが、デンマークも例外ではなく、その風を利用した風力発電が普及しています。コペンハーゲンのような大都市でも、少し中心部から離れた海岸や海上には発電用の風車がたくさん並んでいます。

https://www.clioonline.dk/geografifaget/emner/demografi-og-erhverv/urbanisering/byernes-lokalisering/

2　デンマーク語ってどんな言葉？

デンマーク語は、デンマーク王国（グリーンランド、フェロー諸島を含む）で第一言語（母語）、または第二言語として使われている言語です。生い立ちの点から見ると、デンマーク語は「インド・ヨーロッパ語族」と呼ばれる大家族の中の「ゲルマン語派」という親族の一員で、日本人には親しみのある外国語である英語と血の繋がりがあります。デンマーク語は「ゲルマン語派」の中でも「北方ゲルマン諸語」という家族の一員で、ノルウェー語、スウェーデン語、アイスランド語、フェロー語と兄弟・姉妹の関係にあります。

既にお話ししたフェロー諸島やグリーンランドでもデンマーク語は通じますし、正確な数字は明らかになっていませんが、デンマークと国境を接するドイツの北部にもデンマーク語を話す人たちのコミュニティがあると言われています。また、かつてデンマークの領土であったアイスランドでは 1999 年まで第一外国語としてデンマーク語が学ばれており、（相当な個人差はありますが）デンマーク語を解する人が少なくありません。

デンマークの言語・社会事情

デンマーク語は誰のもの？

「デンマーク言語・文学協会」（通称 DSL）は 1990 年代の新語の一つとして ‘nydanskere’ を挙げています。直訳すると「新デンマーク人」です。かつては「ペルシャ人」‘perser’ と「トルコ人」‘tyrker’ から造った ‘perker’ という語がありましたが、差別的な意味合いが強くなった昨今、新たにこの語を生み出した訳です。近年「第二世代移民」、つまり中東から移住した両親の元に生まれ、デンマークで育ちデンマーク語を母語として身につけた人々が増えており、コペンハーゲンの小中学生の約三割が二言語話者であるという報告もあります。

彼らの話すデンマーク語には ‘wallah’ や ‘magi’ など中東の言語に由来する語句が頻繁に現れ、またリズムやイントネーションも独特です。さらに、彼らの使うデンマーク語が標準語に影響を与えているという興味深い報告もあります。例えば第二世代移民の友人が多い子供は、標準語でもくだけた会話では ‘walla’ などの表現を好んで用いるそうです。

かつては第二世代移民のデンマーク語を「不完全」と見ていましたが、「誤り」に見える現象にも一定の規則が働いていることが明らかになり、今では研究対象としても注目を集めています。彼らのデンマーク語は、文化的・民族的背景の異なるデンマーク語の「方言」なのです。

出典: 三村竜之 (2009).「デンマーク語」. 梶茂樹ほか編.『事典世界のことば 141』. 東京: 大修館書店, pp. 334–337.

EU	53.195
Norge	12.229
Det tidligere Jugoslavien	34.456
Tyrkiet	38.055
Nordamerika	6.406
Syd- og Mellemamerika	3.402
Pakistan	7.135
Iran	6.330
Sri Lanka	5.114
Vietnam	5.160
Irak	11.294
Afrika	23.872
(Heraf Somalia 13.138)	
Statsløse (især palæstinensere)	8.721

典拠: Jeppesen, Bodil, Grethe Maribo (1999). *Mere dansk —for udlændinge på mellemtrin: Grundbog*. København: Gads Forlag, s. 22.

3 デンマーク語に触れてみよう!!

3.1 デンマーク語の文字と発音

デンマーク語を表記するのに用いる文字はアルファベットで、英語に用いるいわゆるローマ字 26 文字の他に 3 文字を加えた 29 文字を用います。

(1) *A a, B b, C c, D d, E e, F f, G g,*
H h, I i, J j, K k, L l, M m, N n,
O o, P p, Q q, R r, S s, T t, U u,
V v, W w, X x, Y y, Z z, ***Æ æ, Ø ø, Å å***

29 文字の内、A a, E e, I i, O o, U u, Y y, Æ æ, Ø ø, Å å の 9 文字は母音を表します。母音が 5 つである日本語を話す私達にとっては、かなり発音の大変な言語と言えます。特に注意すべきは、Y y と Ø ø でしょうか。Y y は日本語で「イ」といいながら唇をすぼめるイメージ、Ø ø は「エ」といいながら唇をすぼめるイメージで発音すると上手くいくかも知れません。

一方、子音に関しては、日本人には比較的馴染みのあるヨーロッパの言語、例えば英語やドイツ語、フランス語などで用いられているものとほぼ同様ですので、外国語学習の経験のある方にはそれほど難しくはないかもしれません。強いて注意すべき子音を挙げるとすれば、D d と R r でしょうか。D d は語頭では日本語のダ行とほぼ同じと考えて構いませんが、母音に挟まれた場合などは何とも言えないはっきりしない音に聞こえます。舌の先を下前歯の裏に付けて発音します。

(2) a. ***d**ame*「婦人」，***d**ansk*「デンマーク語」
b. ***m**ad*「食事」，***g**ade*「通り」

R r は母音の前と後で随分と発音が異なります。母音の後では大体日本語の「ア」に近い音色になりますが、母音の前では喉の奥（俗に「のど○ん○」と呼ばれている場所）に息を当てて発音します。ちょうど、水無しでうがいをしているのとほぼ同じ状態です。慣れないと咳き込んでしまうので、注意して練習してください。

(3) a. ***r**ask*「元気な」，***r**is*「米、ご飯」
b. *par***r**「ペア、一組」，*ma***r**k*「草原」

3.2 デンマーク語の挨拶や表現

日常生活で用いるごく簡単な挨拶や表現を通じて、デンマーク語の発音に触れてみましょう。

(4) a. *Hej.*「こんにちは」、「はじめまして」，*God morgen.*「おはようございます」，*God dag.*「こんにちは」，*God aften.*「こんばんは」，*God nat.*「おやすみなさい」
b. *Farvel.*「さようなら」，*Vi ses.*「さようなら」、「また会いましょう」
c. *Værsgo.*「どうぞ」
d. *Undskyld.*「すいません」
e. *Hvad koster det?*「おいくらですか」，*Hvad er klokken nu?*「今何時ですか」，*Hvad er det?*「これは何ですか」，*Hvordan går det?*「ご機嫌いかがですか」
f. *Mange tak. / Tusinde tak.*「ありがとうございます」

4 デンマーク語の特徴

4.1 喉の具合悪いの？

デンマーク語の発音を特徴づける現象として stød と呼ばれるものがあります。重いものを持ち上げようとしたときに喉がキュッと閉まるのを感じると思いますが、それに似た方法で行う発音を stød と呼びます。

数は決して多くないのですが、日本語のアクセント（「橋」と「箸」、「飴」と「雨」の違い）のように、stød の有無で意味が区別される語もありますので、注意が必要です。

(5)（Stød 無し・stød 有りの順番で示します: 太字の文字の発音に注意してください）

a. *aft**a**le*「約束」 – *aft**a**le*「約束する」

b. *ma**n***「（世間一般の）人」– *ma**nd***「男、夫」

c. *he**j***「こんにちは、はじめまして」– *ha**j***「鮫」

d. *hu**n***「彼女（英語の she に当たる語）」– *hu**nd***「犬」

ただし、stød が発音できなくとも誤解されることはまずありませんのでご心配なく。でも「デンマーク語らしく発音したい！」という方は是非ともお試しを。

4.2 えっ、読まないんですか？

デンマーク語は、単語の一か所が必ず強くハッキリと発音される言語です。ただし、文を組み立てている単語のすべてが強くハッキリと発音される訳ではありません。その結果どんなことが起こるかといいますと、弱く発音される語はほとんど聴き取れないくらい弱く発音され、時には綴りの通りには発音され無いことがほとんどです。

(6) a. *Jeg ska**l** sov**e**.*「私は寝ます。」

b. *Jeg vi**l** leg**e**.*「私は遊びたいです。」

c. *Tommelise ka**n** flyv**e**.*「親指姫 (Tommelise) は空を飛ぶことが出来ます。」

d. *Hva**d** me**d** dig?*「あなたはどう？」

4.3 数えるだけで一苦労です

まずは 1〜20 まで口慣らしに発音してみましょう。

(7) *1 en, 2 to, 3 tre, 4 fire, 5 fem, 6 seks, 7 syv, 8 otte, 9 ni, 10 ti, 11 elleve, 12 tolv, 13 tretten, 14 fjorten, 15 femten,* ***16 seksten***, ***17 sytten***,
18 atten, *19 nitten, 20 tyve*

例のごとく発音していない文字があったり、綴りどおりに発音していないものがあるので注意してください（特に *seksten* と *sytten*）。

さて、デンマーク語で大変なのは 21〜99 までです。まず 20, 30, . . . 90 までを見てみましょう。

(8) *20 tyve, 30 tredive,* ***40 fyrre***, ***50 halvtreds***,
60 tres, ***70 halvfjerds***, ***80 firs***, ***90 halvfems***
100 hundrede

40 の様に文字と発音が食い違っているものだけでなく、50〜90 のように、本来の 5 や 9 などは用いず作られている数に注意してください。ちなみに 30〜90 までは元来は “-sindstyve” という部分がありましたが、現代では省略されてしまっています。“-sindstyve” は「× 10」あるいは「× 20」を表しており、20〜40 までは十進法で、50〜90 までは二十進法で作られています（例えば、40 fyrre は「4 × 10」、50 halvtreds は「2.5 × 20」）。語源的な語の成り立ちはさておき、しっかりと覚えることが大切です！

ちなみに、21 や 32 のように一の位がゼロでないものの場合ですが、英語や日本語とは異なり、デンマーク語では「**一の位 + og (英語の and に当たる語) + 十の位**」という仕組みで表します。

(9) *21 enogtyve, 22 toogtyve, 23, treogtyve, 34 fireogtredive, 55 femoghalvtreds, 66 seksogtres, 77 syvoghalvfjerds, 88 otteogfirs, 99 nioghalvfems*

5 デンマークのクリスマス

5.1 クリスマスの挨拶

キリスト教徒でない人が少なくないにも拘らず、日本人はクリスマスが大好き。12 月 25 日になると、あちこちで「メリークリスマス！」の声が聞こえてきます。英語では *Merry Christmas.* と書くこの言葉、一体デンマーク語ではなんというのでしょうか？ デンマークでは、*Glædelig jul!*と言葉を掛け合うことで、お互いのクリスマスを祝います。ちなみに *glædelig* は「うれしい」、*jul* が「クリスマス」という意味です。

日本では、クリスマスが終わるとその翌日からは角松を見かけることも当たり前ですが、デンマークでは年を越してもクリスマスツリーやクリスマスの飾り付けを残してあるお家も少なくありません。クリスマスから新年は全体で一つのお祝い事なのでしょうか、デンマーク語では *Glædelig jul og godt nytår!*「メリークリスマス、そして新年おめでとう！」という風に、新年を祝う挨拶とセットになることが普通です（*godt* は「良い」、*nyt* は「新しい」、*år* は「年」という意味です）。

5.2 クリスマスの風習

デンマークのクリスマスと新年の関係は、日本とはちょうど逆と言えるでしょう。クリスマスは親戚など家族がそろってお家でゆっくりと過ごし、伝統的なクリスマス料理を楽しみます（日本ではお正月に家族がそろっておせち料理を食べますよね）が、逆に大晦日から新年にかけては親しい友人らが集まってわいわいとパーティーを開きます（日本はクリスマスでバカ騒ぎをしますよね）。デンマークのクリスマスの特徴をご紹介しましょう。

❒ *Juletræ*「クリスマスツリー」

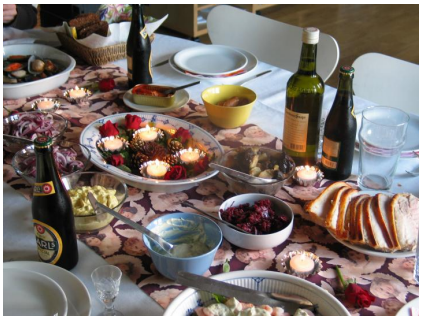
クリスマスツリーには本物の木を使います。ちょうど、日本で年の瀬になるとあちこちでお飾りを売り始めるように、デンマークでも 12 月になると街の市場や駅前の広場などで *gran*「松（の一種; スプルース）」を売っているのをよく見かけます。日本のように電飾で飾り付けることも無い訳ではありませんが、直にろうそくを飾り付けるのが伝統的です。

❒ *Julehjerte*「ユーレイェアテ（ハート形のオーナメント）」

ハートはデンマークでは様々な物に用いられるモチーフで、通貨であるクローネの硬貨にもデザインとして用いられていますし、なんと！ 王宮で見張りをしている近衛兵の待機場所の覗き窓もハート形です。

このデンマーク人に馴染みのあるハート型に紙などを切って、クリスマスツリーのオーナメントを作る習慣があり、特に、紙を編んでつくった *et flettet hjerte*（*flette* は「編む」という意味です）には複雑な図柄のものが沢山あります。デンマークのクリスマスの代名詞とも言える飾り付けです（後程、皆さんと作りましょう）。

❒ *Julefrokost*「ユーレフロコスト」



直訳すると「クリスマスの昼食」です。11 月や 12 月に入ると、家族はもちろんのこと、職場の同僚など親しい人たちと一緒に、少し豪勢な昼食を準備して、なんと昼間っからパーティを開きます（ちなみに、元来は、12 月 25 日、あるいは 26 日に *julefrokost* は催されていたそうです）。時期や目的を考えると、ちょうど日本の「忘年会」に似ているかもしれませんね。

供される食事は全てデンマークの伝統料理で、*smørrebrød*「オープンサンドイッチ」や *frikadeller*「フリカデレ（肉団子）」、*medisterpølse*「ソーセージ」、*flæskesteg*「フレスケスタイ（豚バラのロースト）」などです。食事とともに、*øl*「ビール」と *snaps*「シュナップス（ジャガイモなどを原料とする蒸留酒）」を飲みます。

5.3　デンマークの伝統的クリスマス料理

デンマークでクリスマスに食べる伝統料理をちょっとご紹介しましょう。

❒ *flæskesteg*「フレスケスタイ（豚バラのロースト）」

表面をカリカリに焼いたものをスライスして、同じくデンマークの伝統料理である *brunkartofler*「ジャガイモのカラメルソテー」や *grønlangkål*（ケール（甘藍）を細かく刻み煮たもの）などを添えて食べます。

❒ *Medisterpølse*「メディスターソーセージ」

1500 年頃のスウェーデンに起源を持つと言われるソーセージ。かなり太めで、スパイスのために少し黒っぽいのが特徴です。豚の腸をそのまま使っているので長めなのですが、盛りつけるときには 5cm ほどの大きさに切り分けます。

1800 年代の中頃にはクリスマス料理のメインディッシュとして「ガチョウの丸焼き」を食べていたこともあるようです（例えば アンデルセン童話「マッチ売りの少女」）。しかしながら、元来、北欧のクリスマス jul は「冬至祭」であり、古くからの民間信仰に倣い豊穣を祝うお祭りですので、その土地の畜産物、特にデンマークでは豚肉を食べるのが伝統的なのです。

❒ *Æbleskiver*「エーブレスキゥワ」

直訳すると「リンゴのスライス」ですが、見た目は「たこ焼き」に似た丸いお菓子です。パンケーキに似た食感です。粉砂糖をかけ、イチゴやブルーベリーなどのジャムを添えて食べます。（付録をご覧ください）

❒ *Risalamande*「ライスプディング（アーモンド入り）」

クリスマスの伝統的なデザートで、甘くおかゆ状にした米にホイップクリーム、バニラ、刻んだアーモンドを混ぜて作ります。通常は冷たくして食べます。伝統的にはアーモンドを一粒まぜ、それを見つけた人はちょっとしたプレゼント（*mandelgave* “アーモンドのプレゼント”）をもらうことになっています。

5.4　ちょっとおかしなデンマークのクリスマス

❒ *Juledans*「クリスマスのダンス」

デンマークのクリスマスの特徴的な催し物と言えるのが「ダンス」です。既にお話ししたように、デンマークでは家族や親類といっしょにクリスマスを過ごしますが、伝統的なクリスマス料理を食べ終え、コーヒーなどを飲みながらゆっくりと過ごしたころ、家族みんなで「ダンス」が始まります。

「ダンス」といっても至って簡単。手をつないでクリスマスツリーを囲み、回りながら伝統的なクリスマスの歌 *julesang* を口ずさみます。

❒ *Julegave*「クリスマスプレゼント」

日本だけでなく、デンマークでもクリスマスプレゼントの交換は行います。ただ、日本とちょっと異なる（見方によっては奇妙な）習慣もあります。

まずは、*ønskeseddel* (*ønske* は「希望する」、*seddel* は「紙切れ」という意味です)。これは、いわば「プレゼントのリスト」で、今年はこんな物が欲しい、というのを事前に紙に書いて渡しておくのです。尤も、日本でも、子供だったら「あれが欲しい！」ということはありますが、デンマークでは大人が大人に対してごく当たり前のように行います（実は、これはクリスマスだけの習慣ではなく、誕生日プレゼントにも当てはまります）。またデンマークでは、クリスマスプレゼントを全部、ツリーの下に集めて飾る習慣があります。

最後にもう一つ特徴的な習慣としては、「プレゼントの交換」があります。「交換」といっても、お互いにプレゼントを贈り合うのではなく、なんと、もらったプレゼントが気に入らなければ、買ったお店で（相当額の）好きな物に交換できるのです。プレゼントの箱の中には *byttesedel* (*bytte*「交換する」+ *seddel*「紙切れ」) と呼ばれるものがあり、レシートと一緒にお店に持っていくことで「交換」してもらえます。

実はこの習慣、クリスマスだけのものではなく、デンマークの買い物の習慣と言った方がよいでしょう。何か大きな買い物をすると、ほとんどの場合、*byttesedel* をくれますので、万が一というときには気軽に商品の交換ができるのです。

付録: Æbleskiver の作り方

Æbleskiver

材料（約 30 個分）

薄力粉	200g	グラニュー糖	大さじ 2 杯
卵	3 個	塩	少々
牛乳	2 カップ	カルダモン（粉末）	少々
生イースト	25g	料理用マーガリン	50–70g
バター	50g	粉砂糖・ジャム	適量

作り方

1. 人肌に温めた牛乳に生イーストを入れ、よく混ぜ合わせる。
2. バターを湯煎で溶かす。
3. ボウルに薄力粉を振るい入れ、その中に *1.* と *2.*、グラニュー糖、塩、カルダモン（無ければシナモンの粉末でも可）を入れてよく混ぜ合わせ、30 分ほど置いておく。
4. 専用のフライパン（たこ焼き器でも可）の丸い部分にマーガリンを大さじ 1 杯程度ずつ入れて熱し、溶けたところに発酵した *3.* を丸い部分の半分程まで入れる。焦げ目がついたらひっくり返し、全体がキツネ色になるように焼く。
5. お皿に盛りつけ、粉砂糖を振りかける。ラズベリーやカシス（黒すぐり、ブラックカラント）など酸味のあるジャムを添える。

❒ 次の書物を参考にしました:

岡村恭子 (2005).『ヤコブセンの家: 桜日記』. 東京: プチグラパブリッシング.

もっとデンマークを知るために

- 村井誠人 編著 (2009).『デンマークを知るための 68 章』（エリア・スタディーズ 76）. 東京: 明石書店.
- 小島ブンゴード孝子, 澤渡夏代ブラント (1996).『福祉の国からのメッセージ: デンマーク人の生き方・老い方』（丸善ブックス 049）. 東京: 丸善.
- 湯沢雍彦 (2001).『少子化を乗り越えたデンマーク』. 東京: 朝日新聞社.

❒❒ もっとデンマーク語について知りたい方へ ❒❒

今回の講座ではほんの一握りの語句や表現に限定してご紹介しました。もちろん、デンマーク語はもっと奥の深いことばです。日常の挨拶に限定しても様々な単語や表現があります。もっとデンマーク語を勉強してみたい、そんな皆さんに幾つか役立つ本をご紹介します。

1. 荒川明久 (2006).『まずはこれだけデンマーク語』. 東京: 国際語学社.
   デンマーク語の初級レベルの教科書ですが、旅行中の様々な場面で使えるかもしれない語句や表現が沢山収録されています。CD も付属しているので実際の発音も聴くことができます。

2. 鈴木雅子 (2002).『旅の指さし会話帳 31 デンマーク』. 東京: 情報センター出版局.
   旅行で役に立つかもしれない語句や表現と、かわいらしいカラーの指し絵が満載。眺めるだけで楽しくなる旅行会話の本です。この「指さし会話帳」は文字通り、挿絵を指差してデンマーク人に見せればコミュニケーションがとれる、という趣旨で作られたものですが、ことばは声に出して使うもの。カタカナのルビがふってありますので、ぜひぜひ、声に出して練習してみて下さい。

3. 三村竜之 (2018).『ニューエクスプレスプラス デンマーク語』. 東京: 白水社.
   手前味噌ですみません。ゼロからデンマーク語を学ぶ方を対象にした教科書で、中級レベルの一歩手前くらいのレベルで「読み・書き・話す・聴く」の四つの技能をなるべく満遍なく身につけることを目指しています。文法や発音の詳しい解説もあります。CD が付属しているので実際の発音も聴くことができます。

デンマーク語は、文法は英語にとてもよく似ていて、覚えなくてはならないきまりもそれほど多くはありません。なので、英語やドイツ語を勉強したことのある人ならば、それほど抵抗なく勉強することができるのではないでしょうか。しかし、発音に関しては、デンマーク語は日本人にとってはちょっと厄介なことばです。例えば、喉の奥の方（俗に「のど○○○」と呼ばれる場所です）で R を発音したり、日本語では母音は「ア・イ・ウ・エ・オ」の５つを発音し分けるだけで十分ですがデンマーク語ではもっと細かく発音しわけなくてはならないなど、大変です。ですが、教科書の付属 CD などを使ってコツコツと練習すれば、必ず発音できるようになります。

Øvelse gør mester. Held og lykke!
練習あるのみ!! 頑張ってください。